

土木事業委託積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和6年(2024年)12月1日以降積算基準日適用)

区 分	ページ	現 行	改 定	備 考
地質調査編 〔2〕 地質調査 標準歩掛等	目次 － 3	地質調査標準歩掛等 運用資料 調地標準 - 7 1. 共通 調地標準 - 9 1-2 共通の留意事項 調地標準 - 9 2. 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング) 調地標準 - 9 2-7 解析等調査業務 調地標準 - 9 2-8 その他 調地標準 - 9 2-9 ボーリング孔保護工 調地標準 - 9 2-10 オーガーボーリング 調地標準 - 10 2-11 ビートサンプリング 調地標準 - 10 5. 地すべり調査 調地標準 - 11 5-7 その他 調地標準 - 11 5-8 地下水検層 調地標準 - 11 6. 地質概査 調地標準 - 12 6-1 適用範囲及び条件 調地標準 - 12 6-2 標準歩掛 調地標準 - 12 6-3 その他 調地標準 - 13 7. 物理検層 調地標準 - 14 7-1 適用 調地標準 - 14 7-2 測定 調地標準 - 14 7-3 データ整理・計算 調地標準 - 15 7-4 解析 調地標準 - 16 7-5 深部補正 調地標準 - 16 7-6 その他 調地標準 - 16	地質調査標準歩掛等 運用資料 調地標準 - 7 1. 共通 調地標準 - 9 1-2 共通の留意事項 調地標準 - 9 2. 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング) 調地標準 - 9 2-7 解析等調査業務 調地標準 - 9 2-8 その他 調地標準 - 9 2-9 ボーリング孔保護工 調地標準 - 9 2-10 オーガーボーリング 調地標準 - 10 2-11 ビートサンプリング 調地標準 - 10 5. 地すべり調査 調地標準 - 11 5-7 その他 調地標準 - 11 5-8 地下水検層 調地標準 - 11 6. 地質概査 調地標準 - 12 6-1 適用範囲及び条件 調地標準 - 12 6-2 標準歩掛 調地標準 - 12 6-3 その他 調地標準 - 13 廃 止	歩掛の廃止

土木事業委託積算基準 の 改定・追加・訂正			適用年月日 (令和6年(2024年)12月1日以降積算基準日適用)	
区 分	ページ	現 行	改 定	備 考
地質調査編 〔2〕 地質調査 標準歩掛等	調地標準 － 6	<u>7. 物理地層</u> <u>7-1 適用</u> 「<u>運用資料</u>」を適用する。 <u>7-2 測定</u> 「<u>運用資料</u>」を適用する。 <u>7-3 データ整理・計算</u> 「<u>運用資料</u>」を適用する。 <u>7-4 解析</u> 「<u>運用資料</u>」を適用する。 <u>7-5 深度補正</u> 「<u>運用資料</u>」を適用する。 <u>7-6 その他</u> 「<u>運用資料</u>」を適用する。	廃 止	歩掛の廃止
		調地標準 - 6	調地標準 - 6	

土木事業委託積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和6年(2024年)12月1日以降積算基準日適用)

区 分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																																																																																								
地質調査編 〔2〕 地質調査 標準歩掛等	調地標準 － 1 4	7. 物理検層 7-1 適用 ボーリング孔を利用して孔壁周辺の地層の物理的性質を調べる各原位直試験に適用する。なお、ボーリングと同一業務で行わない場合は、計画準備費・報告書作成費を別途計上すること。 7-2 測定 7-2-1 測定（物理検層） <table><tr><th colspan="2">施工単価コード</th></tr><tr><td colspan="2">DXB48010～DXB48080</td></tr></table> (10.0m当り) <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">速度(P)検層</th><th rowspan="2">音波(P)</th><th colspan="3">P・S検層</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>1m間隔</th><th>2m間隔</th><th>1m間隔</th><th>2m間隔</th><th>1m間隔</th></tr><tr><td rowspan="3">直接 人件費</td><td>地質調査士</td><td>人</td><td>3.0</td><td>2.0</td><td>3.0</td><td>6.0</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>2人作業</td></tr><tr><td>地質調査補助員</td><td>人</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>3.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>1人作業</td></tr><tr><td>地質調査員</td><td>人</td><td>4.5</td><td>3.0</td><td>4.5</td><td>9.0</td><td>4.5</td><td>6.0</td><td>3人作業</td></tr><tr><td rowspan="3">材料費</td><td>ダイナマイト</td><td>本</td><td>{4.0}</td><td>{2.0}</td><td>—</td><td>{4.0}</td><td>{2.0}</td><td>—</td><td>3号銅(100%)</td></tr><tr><td>電気雷管</td><td>個</td><td>{3.0}</td><td>{1.5}</td><td>—</td><td>{3.0}</td><td>{1.5}</td><td>—</td><td>6号瞬発</td></tr><tr><td>損 耗 費</td><td>式</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>別表による</td></tr><tr><td rowspan="2">動力費</td><td>消耗品費</td><td>式</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>上記材料費計*10%</td></tr><tr><td>軽油・油脂</td><td>式</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>材料費*1%</td></tr><tr><td rowspan="2">機械等 損料</td><td>検層器損料</td><td>日</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>3.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.2m間隔-1m間隔の 直接人件費*1.8%</td></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>日</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>3.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.2m間隔-1m間隔の 直接人件費*2.5%</td></tr></table> <table><tr><th>区分</th><th>名 称</th><th>単 位</th><th>密度</th><th>電気</th><th>温度</th><th>圧力</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="3">直接 人件費</td><td>地質調査士</td><td>人</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2人作業</td></tr><tr><td>地質調査補助員</td><td>人</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1人作業</td></tr><tr><td>地質調査員</td><td>人</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2人作業</td></tr><tr><td rowspan="2">材料費</td><td>損 耗 費</td><td>式</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>別表による</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>式</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>上記材料費計*10%</td></tr><tr><td>動力費</td><td>軽油・油脂</td><td>式</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>材料費*1%</td></tr><tr><td>安全費</td><td>塩水による</td><td>式</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>直接人件費*5%</td></tr><tr><td rowspan="2">機械等 損料</td><td>検層器損料</td><td>日</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>直接人件費*6.6%</td></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>日</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>直接人件費*8.4%</td></tr></table> 損耗費はケーブル及びソングの1回使用当たりの費用とし、下表の値を直接人件費に乘じる。 <table><tr><th>速度(P)</th><th>音波(P)</th><th>P・S検層</th><th>P・S検層</th><th>密度</th><th>電気</th><th>温度</th><th>圧力</th><th>摘 要</th></tr><tr><th></th><th></th><th>ダウンホール</th><th>孔内観測装置</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td>1m間隔の 7%</td><td>1m間隔の 1.7%</td><td>1m間隔の 1.7%</td><td>4.0%</td><td>3.5%</td><td>1.1%</td><td>1.1%</td><td>1.1%</td><td>ケーブル及びソングは 3.0回使用で全損</td></tr></table> 注) 1. 各検層の測定間隔は表に示す値を基本としている。表以外の測定間隔の場合は別途考慮すること。 2. 速度検層、P・S検層におけるダイナマイト及び電気雷管は必要に応じて計上すること。	施工単価コード		DXB48010～DXB48080		区分	名 称	単 位	速度(P)検層		音波(P)	P・S検層			摘 要	1m間隔	2m間隔	1m間隔	2m間隔	1m間隔	直接 人件費	地質調査士	人	3.0	2.0	3.0	6.0	3.0	4.0	2人作業	地質調査補助員	人	1.5	1.0	1.5	3.0	1.5	2.0	1人作業	地質調査員	人	4.5	3.0	4.5	9.0	4.5	6.0	3人作業	材料費	ダイナマイト	本	{4.0}	{2.0}	—	{4.0}	{2.0}	—	3号銅(100%)	電気雷管	個	{3.0}	{1.5}	—	{3.0}	{1.5}	—	6号瞬発	損 耗 費	式	1	1	1	1	1	1	別表による	動力費	消耗品費	式	1	1	1	1	1	1	上記材料費計*10%	軽油・油脂	式	1	1	1	1	1	1	材料費*1%	機械等 損料	検層器損料	日	1.5	1.0	1.5	3.0	1.5	2.0	2.2m間隔-1m間隔の 直接人件費*1.8%	ボーリングマシン	日	1.5	1.0	1.5	3.0	1.5	2.0	2.2m間隔-1m間隔の 直接人件費*2.5%	区分	名 称	単 位	密度	電気	温度	圧力	摘 要	直接 人件費	地質調査士	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2人作業	地質調査補助員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1人作業	地質調査員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2人作業	材料費	損 耗 費	式	1	1	1	1	別表による	消耗品費	式	1	1	1	1	上記材料費計*10%	動力費	軽油・油脂	式	1	1	1	1	材料費*1%	安全費	塩水による	式	1	—	—	—	直接人件費*5%	機械等 損料	検層器損料	日	1.0	1.0	1.0	1.0	直接人件費*6.6%	ボーリングマシン	日	1.0	1.0	1.0	1.0	直接人件費*8.4%	速度(P)	音波(P)	P・S検層	P・S検層	密度	電気	温度	圧力	摘 要			ダウンホール	孔内観測装置						1m間隔の 7%	1m間隔の 1.7%	1m間隔の 1.7%	4.0%	3.5%	1.1%	1.1%	1.1%	ケーブル及びソングは 3.0回使用で全損		歩掛の廃止
施工単価コード																																																																																																																																																																																																																												
DXB48010～DXB48080																																																																																																																																																																																																																												
区分	名 称	単 位	速度(P)検層		音波(P)	P・S検層			摘 要																																																																																																																																																																																																																			
			1m間隔	2m間隔		1m間隔	2m間隔	1m間隔																																																																																																																																																																																																																				
直接 人件費	地質調査士	人	3.0	2.0	3.0	6.0	3.0	4.0	2人作業																																																																																																																																																																																																																			
	地質調査補助員	人	1.5	1.0	1.5	3.0	1.5	2.0	1人作業																																																																																																																																																																																																																			
	地質調査員	人	4.5	3.0	4.5	9.0	4.5	6.0	3人作業																																																																																																																																																																																																																			
材料費	ダイナマイト	本	{4.0}	{2.0}	—	{4.0}	{2.0}	—	3号銅(100%)																																																																																																																																																																																																																			
	電気雷管	個	{3.0}	{1.5}	—	{3.0}	{1.5}	—	6号瞬発																																																																																																																																																																																																																			
	損 耗 費	式	1	1	1	1	1	1	別表による																																																																																																																																																																																																																			
動力費	消耗品費	式	1	1	1	1	1	1	上記材料費計*10%																																																																																																																																																																																																																			
	軽油・油脂	式	1	1	1	1	1	1	材料費*1%																																																																																																																																																																																																																			
機械等 損料	検層器損料	日	1.5	1.0	1.5	3.0	1.5	2.0	2.2m間隔-1m間隔の 直接人件費*1.8%																																																																																																																																																																																																																			
	ボーリングマシン	日	1.5	1.0	1.5	3.0	1.5	2.0	2.2m間隔-1m間隔の 直接人件費*2.5%																																																																																																																																																																																																																			
区分	名 称	単 位	密度	電気	温度	圧力	摘 要																																																																																																																																																																																																																					
直接 人件費	地質調査士	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2人作業																																																																																																																																																																																																																					
	地質調査補助員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1人作業																																																																																																																																																																																																																					
	地質調査員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2人作業																																																																																																																																																																																																																					
材料費	損 耗 費	式	1	1	1	1	別表による																																																																																																																																																																																																																					
	消耗品費	式	1	1	1	1	上記材料費計*10%																																																																																																																																																																																																																					
動力費	軽油・油脂	式	1	1	1	1	材料費*1%																																																																																																																																																																																																																					
安全費	塩水による	式	1	—	—	—	直接人件費*5%																																																																																																																																																																																																																					
機械等 損料	検層器損料	日	1.0	1.0	1.0	1.0	直接人件費*6.6%																																																																																																																																																																																																																					
	ボーリングマシン	日	1.0	1.0	1.0	1.0	直接人件費*8.4%																																																																																																																																																																																																																					
速度(P)	音波(P)	P・S検層	P・S検層	密度	電気	温度	圧力	摘 要																																																																																																																																																																																																																				
		ダウンホール	孔内観測装置																																																																																																																																																																																																																									
1m間隔の 7%	1m間隔の 1.7%	1m間隔の 1.7%	4.0%	3.5%	1.1%	1.1%	1.1%	ケーブル及びソングは 3.0回使用で全損																																																																																																																																																																																																																				

廃 止

廃 止

土木事業委託積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和6年(2024年)12月1日以降積算基準日適用)

区 分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																	
地質調査編 〔2〕 地質調査 標準歩掛等	調地標準 ー 1 5	3. 7-5により歩掛補正を行う。 4. 損耗費は、ケーブル及びソンド（プローブ）の損耗費である。 5. 消耗品費には、記録紙や電源（電池等）、油脂、ビニルテープ等を含む。 6. その他費用は、検層機器の昇降に必要なボーリングマシン及びオペレーターの費用である。 （削孔費は含まれない） 7. 当該歩掛は、最大深さ30.0m程度までの調査を標準としているため、これを超える深度の調査の場合は、別途考慮すること。なお、P・S検層（ダウンホール方式）の測定は、現場状況と地質状況にもよるが深さ10.0m程度が限界なので注意のこと。 8. 当該歩掛には、検層機器の昇降に必要なボーリングマシンやボーリングオペレーターを含む。なお、削孔費は別途計上のこと。 9. 連続検層において起振孔を必要とする場合は、別途φ7.5mm以上のボーリング費（φ7.3mm以上のケーシング全長）を計上のこと。 10. 崩壊性地質などで、塩ビパイプにより孔壁の保護を要する場合は、別途材料費及び挿入費を計上のこと。 11. ボーリングのケーシングプログラムなどにより測定作業が分割される場合は、複数孔による場合と考えると積算すること。また、現地状況により動復角（往復）に日数を要する場合は、別途歩掛を調整・計上すること。 12. ダウンホール方式によるP・S検層を実施する際に、地震基盤として設定された速度を確認して、ボーリングの掘止めを行う場合、増掘する場合の測定費は、その都度別孔扱いとして個別に補正係数を乗じて積算すること。 13. 密着検層における安全費とは、線源が半減期を迎える5年に一度ソンドの部品交換を行う費用、線源の仕様履及び保管に係る費用である。 14. ダウンホール方式によるP・S検層の測定間隔は、土質地盤では1m間隔、岩盤では2m間隔が標準である。このため、同一孔で土質地盤と岩盤が混在する場合には、土質地盤と岩盤とに分けて測定費を積算すること。なお、岩盤区間中の読み屋や破砕帯の検出など、地質状況の変化が大きく高い精度を要求される場合は、岩盤でも1m間隔とすることがある。 15. 測定深とは、測定区間長ではなく、測定する最下端の深さを指す。従って、5.0mから10.0m間を測定する場合は、測定深10.0mとなる。なお、前述のように同一孔で測定費を分けて積算する場合には、その孔の最下端の深さを測定深とすること。例えば、同一孔において、1m間隔で0～5.0m区間（5.0m）、2m間隔で5.0～8.0m区間（3.0m）を測定する場合、どちらも測定深は8.0mとなる。 7-3 データ整理・計算 7-3-1 データ整理・計算（物理検層） <table><tr><th colspan="2">施工単価コード</th><th colspan="2">DXB48210～DXB48280</th></tr><tr><th colspan="4">（10.0m当り）</th></tr><tr><th>区 分</th><th>名 称</th><th>単 位</th><th>速 度（P）検層 2次元・1次元</th><th>音 波（P）</th><th colspan="2">P・S 検 層 ダウンホール</th><th>摘 要</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th>1m間隔</th><th>2m間隔</th><th>1m間隔（連続）</th><th>1m間隔</th><th>2m間隔</th><th></th></tr><tr><td>直接</td><td>地質調査技師</td><td>人</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>人件費</td><td>主任地質調査員</td><td>人</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>4.0</td><td>2.0</td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>直接人件費×5%</td></tr></table> <table><tr><th>区 分</th><th>名 称</th><th>単 位</th><th>P・S検層 孔内起振受振</th><th>密 着</th><th>電 気</th><th>温 度</th><th>鉛入</th><th>摘 要</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th>1m間隔</th><th>連続</th><th>連続</th><th>連続</th><th>連続</th><th></th></tr><tr><td>直接</td><td>地質調査技師</td><td>人</td><td>1.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td></td></tr><tr><td>人件費</td><td>主任地質調査員</td><td>人</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>直接人件費×5%</td></tr></table> （注）1. 各検層の測定間隔は、表に示す値を基本としている。表以外の測定間隔の場合は別途考慮すること。 2. 7-5により歩掛補正を行う。	施工単価コード		DXB48210～DXB48280		（10.0m当り）				区 分	名 称	単 位	速 度（P）検層 2次元・1次元	音 波（P）	P・S 検 層 ダウンホール		摘 要				1m間隔	2m間隔	1m間隔（連続）	1m間隔	2m間隔		直接	地質調査技師	人	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0		人件費	主任地質調査員	人	2.0	1.0	2.0	4.0	2.0		消耗品費		式	1	1	1	1	1	直接人件費×5%	区 分	名 称	単 位	P・S検層 孔内起振受振	密 着	電 気	温 度	鉛入	摘 要				1m間隔	連続	連続	連続	連続		直接	地質調査技師	人	1.0	4.0	4.0	4.0	4.0		人件費	主任地質調査員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		消耗品費		式	1	1	1	1	1	直接人件費×5%	廃 止	歩掛の廃止
施工単価コード		DXB48210～DXB48280																																																																																																			
（10.0m当り）																																																																																																					
区 分	名 称	単 位	速 度（P）検層 2次元・1次元	音 波（P）	P・S 検 層 ダウンホール		摘 要																																																																																														
			1m間隔	2m間隔	1m間隔（連続）	1m間隔	2m間隔																																																																																														
直接	地質調査技師	人	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0																																																																																														
人件費	主任地質調査員	人	2.0	1.0	2.0	4.0	2.0																																																																																														
消耗品費		式	1	1	1	1	1	直接人件費×5%																																																																																													
区 分	名 称	単 位	P・S検層 孔内起振受振	密 着	電 気	温 度	鉛入	摘 要																																																																																													
			1m間隔	連続	連続	連続	連続																																																																																														
直接	地質調査技師	人	1.0	4.0	4.0	4.0	4.0																																																																																														
人件費	主任地質調査員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0																																																																																														
消耗品費		式	1	1	1	1	1	直接人件費×5%																																																																																													

土木事業委託積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和6年(2024年)12月1日以降積算基準日適用)

区 分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																			
地質調査編 〔2〕 地質調査 標準歩掛等	調地標準 － 1 6	7-4. 解析 7-4-1. 解析（物理検層） <table><tr><td colspan="2">施工単価コード</td><td colspan="2">0XB48410～0XB48440</td></tr></table> (100m当り) <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">速度(P)検層</th><th rowspan="2">音波 (P)</th><th colspan="3">P・S 検 層</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>1m間隔</th><th>2m間隔</th><th>1m間隔</th><th>ダウンホール 1m間隔</th><th>孔内振動計 2m間隔</th><th>1m間隔</th></tr><tr><td rowspan="4">直接 人件費</td><td>主任技師</td><td>人</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>技師(A)</td><td>人</td><td>3.0</td><td>1.5</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>2.0</td><td>4.0</td><td></td></tr><tr><td>技師(C)</td><td>人</td><td>2.5</td><td>2.0</td><td>5.0</td><td>6.0</td><td>5.0</td><td>6.0</td><td></td></tr><tr><td>技術員</td><td>人</td><td>3.0</td><td>2.0</td><td>5.0</td><td>8.0</td><td>5.0</td><td>8.0</td><td></td></tr><tr><td>材料費</td><td>雑品式</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>直接人件費*1%</td></tr></table> 注) 1. 各検層の測定間隔は、表に示す値を基本としている。表以外の測定間隔の場合は別途考慮すること。 2. 7-5により歩掛補正を行う。 3. 密度、電気、温度、キャリパー検層は、データ整理・計算に解析費用を含む。 3. ダウンホール方式によるP・S検層を実施する際に、地震基盤として設定された速度を確認してボーリングの掘止めを行う場合、現地で解析した区間は別孔の解析費として計上すること。 4. 当該作業は、解析等調査業務費として計上すること。 7-5. 深度補正 測定、データ整理・計算、解析について、測定深に応じて次の補正係数を各人件費に乗じる。なお、複数の孔がある場合は、孔毎にそれぞれの測定深に応じた補正係数を用いること。 (1) 測定深が20m以下の場合 補正係数＝0.5 (2) 測定深が20m超100m以下の場合 補正係数＝0.0063×測定深＋0.375 (測定深は整数とし、補正係数は小数第3位四捨五入して小数第2位とする。) (3) 測定深が100m超500m以下の場合 補正係数＝(1.8－0.4log(測定深))×測定深÷100 (測定深は整数とし、補正係数は小数第3位四捨五入して小数第2位とする。対数(log)の底は10) (4) 測定深が500m超の場合 補正係数＝3.6 7-6. その他 電子成果品作成費は、「設計業務等標準積算基準書 第2編 第2章 地質調査標準歩掛等 2-8-1 電子成果品作成費」により計上する。	施工単価コード		0XB48410～0XB48440		区 分	名 称	単 位	速度(P)検層		音波 (P)	P・S 検 層			摘 要	1m間隔	2m間隔	1m間隔	ダウンホール 1m間隔	孔内振動計 2m間隔	1m間隔	直接 人件費	主任技師	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		技師(A)	人	3.0	1.5	3.0	4.0	2.0	4.0		技師(C)	人	2.5	2.0	5.0	6.0	5.0	6.0		技術員	人	3.0	2.0	5.0	8.0	5.0	8.0		材料費	雑品式		1	1	1	1	1	1	直接人件費*1%	廃 止	歩掛の廃止
施工単価コード		0XB48410～0XB48440																																																																					
区 分	名 称	単 位	速度(P)検層		音波 (P)	P・S 検 層			摘 要																																																														
			1m間隔	2m間隔		1m間隔	ダウンホール 1m間隔	孔内振動計 2m間隔		1m間隔																																																													
直接 人件費	主任技師	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																															
	技師(A)	人	3.0	1.5	3.0	4.0	2.0	4.0																																																															
	技師(C)	人	2.5	2.0	5.0	6.0	5.0	6.0																																																															
	技術員	人	3.0	2.0	5.0	8.0	5.0	8.0																																																															
材料費	雑品式		1	1	1	1	1	1	直接人件費*1%																																																														

廃 止

地質調査標準歩掛等 運用資料	調地標準	-	7
1. 共通	調地標準	-	9
1-2 共通の留意事項	調地標準	-	9
2. 機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）	調地標準	-	9
2-7 解析等調査業務	調地標準	-	9
2-8 その他	調地標準	-	9
2-9 ボーリング孔保護工	調地標準	-	9
2-10 オーガーボーリング	調地標準	-	10
2-11 ピートサンプリング	調地標準	-	10
5. 地すべり調査	調地標準	-	11
5-7 その他	調地標準	-	11
5-8 地下水検層	調地標準	-	11
6. 地質概査	調地標準	-	12
6-1 適用範囲及び条件	調地標準	-	12
6-2 標準歩掛	調地標準	-	12
6-3 その他	調地標準	-	13

廃止

廃止

廃止

廃止